

# 天白こじょう会 30 周年記念特集号

令和 3 年 4 月

20 周年以降「天白こじょう会だより」表紙一覧



発行／天白こじょう会  
名古屋市高年大学鯉城学園



## 目 次

表 紙	20周年以降の「天白こじょう会だより」表紙一覧	1
目 次		2~3
会長挨拶	天白こじょう会創立30周年を迎えて 26代会長 31期 地域 福永 時継	4

### 特別寄稿

名古屋市天白区	区 長	井田 宏正 様	5
名古屋市天白区社会福祉協議会	事務局長	名内 丈資 様	6
名古屋市天白土木事務所	所 長	三宅 弘高 様	7
社会福祉法人 地域福祉コミュニティ ほほえみ	理 事	竹内 三保子 様	8
社会福祉法人 新生会 あしたの丘	施 設 長	小塚 真由美 様	9
養護老人ホーム 名古屋寿荘	荘 長	加藤 修 様	10
天白生涯学習センター	館 長	新実 由美子 様	11
名古屋市高年大学 鯨城学園	副 学 長	南谷 定昭 様	12
鯨城会	会 長	細野 博行 様	13

### 天白こじょう会の歩み

鯨城学園、天白こじょう会の創立	14
会員数の推移	15
行事実績表	16~17
歴代役員表	18

### 歴代会長祝辞

7代会長	健康・絆とこじょう会	11期 文化	八木 良三	19
13代会長	30周年を迎えて	17期 園芸	上利 淳	19
19代会長	30周年おめでとうございます	24期 美術	豊田 悦造	20
20代会長	30周年に寄せて	26期 国際	斉藤 昌和	20
22代会長	天白こじょう会と私	28期 文化	宮下 勝次	21
23代会長	29年度を振り返って	29期 環境	坂井 慶喜	21
24代会長	出会い・ふれあい・わかちあい	30期 生活	金丸 正美	22
25代会長	有用で大切な天白こじょう会	30期 国際	杉山 元浩	22





現役員挨拶

副会長	皆でつくる楽しい天白こじょう会	31期 地域	市川 正信	23
副会長	30周年に寄せて	31期 生活	中村 宏志	23
副会長	副会長としての役割	32期 地域	小島 明	24
総務リーダー	想い	31期 生活	伊藤 初枝	24
広報リーダー	天白こじょう会との関わり	31期 陶芸	川島 英良	25
鯨城会幹事	今後ますますの発展を願って	30期 国際	水本 進	25

ブロック会挨拶

御幸山	30周年によせて	29期 生活	佐々山 将浩	26
天白	天白ブロック長として	28期 文化	宮前 裕道	26~27
南天白	南天白ブロックについて	30期 健康	井熊 重義	27
原	原ブロック長として	29期 地域	小川 司郎	27
平針	平成から令和へ	28期 地域	西尾 克己	28

愛護会挨拶

「戸笠公園・愛護会」あれこれ	24期 生活	八木 勝男	28~29
天白公園第4愛護会の活動について	27期 地域	水野 正弘	29
天白川緑道の清掃美化活動	24期 美術	豊田 悦造	30

同好会挨拶

健康ウォーク	楽しいウォーキング	27期 地域	水野 正弘	31
リズム体操	30周年に寄せて	20期 生活	西 かず彥	32
パソコン研究会	現況と今後の課題	24期 美術	豊田 悦造	32~33
絵手紙の会	「絵手紙の会」の近況	27期 国際	古橋 富美代	33
アウトドア	青空の下で和気あいあいと 短歌2首	26期 国際	斉藤 昌和	34
カラオケ	30周年おめでとうございます	32期 福祉	綿貫 幸夫	35
グラウンドゴルフ	同好会立ち上げ13年	18期 生活	林口 強	35

会員からの投稿

楊名時太極拳に出会えて	30期 国際	馬場 興樹	36
天白こじょう会一年の感想	33期 地域	青山 博美	37
「空白の1年」	33期 国際	小島 範雄	37
水野寛美さんを偲んで	24期 美術	豊田 悦造	38

編集後記	29期 地域	石谷 清和	39
裏表紙	天白こじょう会の旗		40



# 会長挨拶

天白こじょう会創立 30 周年を迎えて

26 代会長 福永 時継 (31 期 地域A)

天白こじょう会は平成3年(1991年)3月29日に結成され、今年で30周年を迎えました。この記念すべき年に会長を仰せつかり、光栄に思っております。30年間の諸先輩の努力に深く感謝し、これからの更なる発展を祈念する次第です。



創立30周年にあたり、平成30年に立ち上げた準備委員会を1年前に実行委員会に切り替え、記念式典の開催とこの特別号の発行を2本柱として準備を進めてまいりましたが、昨春からの新型コロナウイルス感染が終息する見込みがなく、皆様の健康を配慮して記念式典の開催を断腸の思いで断念しました。

また新型コロナウイルスに振り回され、新しい日常を模索する1年でした。事業計画の多くは中止に追い込まれ、会議の開催やブロック会・愛護会・同好会・同期会等の日常の活動にも大きな支障が出ました。生活様式・活動様式も一変しました。鯨城会においては全企画中止、鯨城学園においても1年間の休校とそれに伴う今春の卒業生なし(区会への入会者なし)という事態が生じました。

そんな逆風の中ですが、負けてはいられません。近年続いている会員の減少を何とか食い止め、「仲間づくり」「健康づくり」「楽しみづくり」を力強く続けていきたいと思っております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



# 特別寄稿

## 名古屋市天白区

### 祝 辞

区長 井田 宏正



天白こじょう会創立 30 周年誠におめでとうございます。

貴会におかれましては、日ごろから天白川・植田川緑道の美化活動を始めとする各種のボランティア活動を通じて市・区政の全般にわたりご支援、ご協力を賜るとともに、会員の皆様方の同好会・サークル活動により天白区の文化・スポーツの振興に大きく寄与いただいているところでございます。歴代の会長を始めとする会員の皆様方の熱意とご努力に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年来のコロナ禍により、普段の活動が行えず大変苦慮していると同っております。感染リスクが人と人との絆やつながりを断ち切ろうとしている今だからこそ、互いに支え合い、励まし合いながら楽しみを共有し、喜びを実感できる社会や人間関係を築き上げていくことの大切さを改めて感じております。このような中、親睦・地域貢献という考えのもとに様々な活動を展開している貴会の果たす役割は、極めて重要なものと存じます。

区役所といたしましても、昨年「天白区将来ビジョン」を策定し、めざすべきまちの姿として、「高齢者がいきいきと暮らせるまち」を掲げ、さまざまな施策を実施しているところでございます。引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新型コロナウイルス感染症の流行が沈静化し、安心して活動ができる時期が早期に到来するようお願いとともに、いつまでも元気に活躍いただきますよう、会員の皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



天白区の花：マーガレット



# 社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会

事務局長 名内 丈資



天白こじょう会が創立 30 周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。

会員の皆さまは日ごろから相互の親睦交流を深めながら、地域の清掃活動やイベント、高齢者福祉施設等におけるボランティア活動など地域活動にも積極的に取り組んでおられ、地域社会における福祉の増進に多大な貢献をなされてきたことに深く敬意を表するものでございます。

急速な少子高齢化の進展、社会構造の変化に伴う住民ニーズの多様化など、地域福祉を進める社会福祉協議会に求められる役割も多岐に亘りますが、地域団体の皆さまと一層連携を深め、「誰もが住み慣れた地域で安心していつまでも住み続けられるまち」の実現のため、これからも高年大学で学ばれた知識と人生経験豊かな天白こじょう会の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが天白こじょう会の益々のご発展、そして会員の皆さま方のご健勝とご活躍を心から祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。





## 名古屋市天白土木事務所

創立 30 周年 おめでとうございます

所長 三宅 弘高

天白こじょう会におかれましては、この度、創立 30 周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

長きにわたって、会員の皆様が地域社会に貢献されてきた活動は、しっかりと天白区に根付き、大きな功績を残してこられました。また、天白区にとどまることなく、市内各所にも活動の場を広げられており、皆様の積極的な取り組みには深く敬意を表します。

みち、かわ、みどりを預かる私ども土木事務所におきましても、公園や緑道の美化活動や啓発活動など、日ごろから皆様に多大なお力添えを賜り、感謝の気持ちでいっぱいです。

しかしながら、この記念すべき 30 周年は折しもコロナ禍の真ただ中、皆様の思いとは裏腹に、数多くの活動が中止になり、残念な気持ちがひしひしと伝わってきます。活動のできない今は我慢の時期ですが、どうか歩みを止めず、会員 210 名の思いがコロナに打ち勝ち、今まで以上に内容の濃い活動が再開されることを期待しております。

最後となりましたが、会のさらなる発展と会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りしております。



イメージキャラクター 「どりょくん」





## 社会福祉法人 地域福祉コミュニティ ほほえみ

### 天白こじょう会の皆さんに支えられて

理事 竹内 三保子



天白こじょう会が創立 30 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。また天白こじょう会の皆様におかれましては、日頃からご尽力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。天白こじょう会の皆様とは当法人の特別養護老人ホーム「ひらばりみなみ」を開所した平成 25 年よりお世話になっております。

当時のことを振り返りますと開所当時は私どもも、新しく入居された利用者さまのお世話をすることで精一杯でした。そんな中、こじょう会の皆様が定期的にお掃除に来てくださったことは、とても心の支えになりました。定期的に来所してくださったことで、利用者さまとも顔見知りとなり、利用者さまと親しくお話するようになり傾聴といった形での関わりをしてくださいました。脳トレや回想法といったことを通してコミュニケーションを深めてくださりとてもうれしく思います。このような機会を通し、施設全体で行う夏祭りの際は、多くの天白こじょう会の皆様がお手伝いに来て下さいました。利用者さまと夏祭りを楽しんで下さったり、会場の設営をして下さったりと私たち職員と同じ気持ちで夏祭りを盛り上げて頂いております。

皆様におかれましては、今後も引き続き活動をして頂き、人とのコミュニケーションで得られる想いや絆を繋げていって頂けたら幸いです。

終わりに、天白こじょう会の益々の発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

利用者さまと親しくお話しして



多くの方が関わってくださる夏祭りの場面







## 社会福祉法人 新生会 あしたの丘

### 天白こじょう会 30 周年によせて

施設長 小塚 真由美



天白こじょう会の皆様、創立 30 周年おめでとうございます。

あしたの丘は、塩釜口駅から徒歩 10 分程度の場所にある障害者支援施設です。当施設には、60 名の方が生活されており、30 名程の方が定期的に通ってこられる福祉施設です。

天白こじょう会様と当施設とのお付き合いは、平成 20 年の夏に始まっており、今年で 13 年目になります。この 13 年間、毎年、開催している「あしたの丘まつり」のボランティア活動や毎月の朗読ボランティア、お茶会、演芸大会の開催など、こじょう会の皆様とあしたの丘はたくさんの思い出を共有してきました。その多くは楽しい思い出であり、人生の先輩である皆さまの澁刺としたご様子から、学ばせていただく機会が数多くありました。

また、皆様との交流を通じて、施設が地域の中にあり、皆様にご支援いただいているという点を強く意識するとともに、地域との結びつきの大切さを実感できる機会でもありました。

しかし、昨年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活の変更を余儀なくされ、人と人のつながりが長期間にわたり分断されました。当施設とこじょう会の皆様の関わりも例外ではなく、1 年以上にわたり施設内において活動いただくことが難しい状態が続いています。

一方、コロナの影響下においては、平常時にはない多くの発見もありました。物理的な距離を保つ必要性が生じたことで、改めて日常的なつながりや対話の重要性を実感するとともに、地域での協力や助け合いの大切さを再確認できました。そのため、コロナ収束後は、一層、地域の皆様との結びつきを重視したいと考えておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

最後になりますが、天白こじょう会様の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈願致しまして、30 周年のお祝いを申し上げます。



## 養護老人ホーム 名古屋市寿荘

### 天白こじょう会 30 周年に寄せて

荘長 加藤 修

天白こじょう会の皆様創立 30 周年おめでとうございます。  
皆様方の 30 年という長きに亘るボランティア活動に対しまして、福祉関係者の一員として、心よりお祝い申し上げます。



寿 荘

私ども寿荘も平成 2 年に千種区からこの天白区に移転し、昨年 1 月で 30 年を迎えたところでございます。施設は、地域の一員であり、地域に開かれたものであり、地域社会に貢献するものであることを施設運営の基本に置き、定員 250 名という大きな老人ホームの運営を行ってこれてきました。これも天白こじょう会の皆様や多くの地域の皆様のおかげでございます。

また当施設では、毎年、地域にお住まいの方もたくさん参加していただく大きな行事として「さつき祭り」や「盆踊り大会」を行っています。天白こじょう会の皆様には、平成 20 年からこの 2 つの行事にボランティアとして参加していただいております。模擬店の運営、沢山のごみの後片付けや駐車場の整理等様々な事をお願いしてまいりました。厚く御礼申し上げます。



さつき祭り

昨年は新型コロナウイルスの影響で、こうした行事も中止・縮小を余儀なくされてしまいましたが、利用者の皆さんも大変楽しみにしている催し物でもございます。状況が許されるならば天白こじょう会の皆様のご協力を得ながら再開できればと考えております。



さつき祭り

「コロナ禍」は、ウイルスの感染という直接的な問題のみならず、社会における様々な「分断」という問題も生み出してしまいました。私たちにとって現在は、「つながり」を絶やさないために、今できることを検討し、実行していくことが大切な時期なのだろうと考えています。天白こじょう会の皆様の活動におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大が大きな制約となったと思



盆踊り大会

ますが、これまでの実績を大切にしながら、創意工夫のもと活動の幅を広げていかれるものと存じます。

今後も、天白こじょう会の皆様には、大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。最後に天白こじょう会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈りいたします。

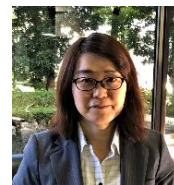


## 天白生涯学習センター

今日は何が出来る？を考えながら、1日1日を活動する

館長 新実 由美子

天白こじょう会の皆さま、創立30周年、誠におめでとうございます。今後も様々な活動が続け、ますますご発展されますようお祈り申し上げます。



また、いつも天白生涯学習センターをご利用いただき誠にありがとうございます。昨年より、新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの生活や行動が大きく変化し、こじょう会だよりを拝見させていただいたところ、皆様の活動にも大きな影響が生じていることが拝察されます。こうした中でも皆様の、活動への情熱や、事態への順応性、または行動力により様々な活動への取り組みを行っていらっしゃる、私どもの業務にも励みになります。

現在のコロナ禍がどのくらいの渦なのか、誰もが分からない中、今後の取り組みは迷いや、悩みがついてきます。新しい様式とよく言われますが、新しい生活様式を皆様で色々知恵を出し合って1日1日を、今日は何ができるかと考えながら、少しずつでも良いので前に進んで行ければと思っております。

私ども天白生涯学習センターは、皆様からの意見を伺い、その意見を反映し、施設運営に努めるとともに、皆様が今後も活動の場としてご利用いただけるよう、微力ながら応援させていただきたく存じます。

次なる目標に向かうために、皆様に今後も笑顔で元気に活動をしていただけるよう、心から願い、お祝いの言葉とさせていただきます。





## 名古屋市高年大学 鯨城学園

創立 30 周年をお祝いして

副学長 南谷 定昭

天白こじょう会の皆様、このたび創立 30 周年を迎えられましたこと、心よりお慶びを申し上げます。



平成 3 年 3 月に設立されました天白こじょう会は、会員の皆様お一人おひとりの努力の積み重ねにより、現在では 200 名を超える会員を有し、今日まで様々な地域活動を続けてこられました。

区内の障がい者施設や高齢者施設での支援活動を始めとして、公園などの環境美化活動や区役所主催の区民まつりへの協力など、その一つひとつの活動が地域社会に大きく貢献されているものであり、改めて深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げる次第です。学園で学び、経験されたことをもとに多くの仲間と共に地域で活動される皆様の姿は在校生にとっても卒業後の目標が明確になり、励みになるものと思います。

さて、令和 2 年は新型コロナウイルスの影響により、学園は開学以来、初めての一年間休校という事態となりました。市鯨城会や区鯨城会の活動などもほとんどが中止や縮小を余儀なくされました。この未曾有の緊急事態にあってはやむを得ないことと思いますが、当面の間は生活様式を変えウィズコロナを実践しながら過ごしていくこととなります。会員の皆様も感染にはくれぐれもお気をつけいただき、体調管理に努めていただくようお願いします。

最後となりましたが、このコロナが収束して平和な日常が一日でも早く訪れることを祈りつつ、これからも会員の皆様の親睦がさらに深まり、ますます活動が充実発展して楽しい会となりますよう心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

学園には  
友来る





## 鯨城会

天白こじょう会創立 30 周年を祝して

会長 細野 博行

天白こじょう会の会員の皆様、この度は創立 30 周年を迎え誠に  
おめでとうございます。



貴会が 207 名の会員を擁し、日頃から町の美化活動や施設訪問  
など福祉関係のボランティア活動に意欲的に取り組まれていること  
に敬意を表します。貴会では愛護会・緑道美化の活動が活発で、公園や街路樹  
の美化におおいに役立っていることでしょう。またカラオケ・体操・散策・パソ  
コンなど 10 以上の趣味の同好会が組織されて、おおいに活動されております。  
活発な活動は諸先輩が長い期間に築いてこられた功績を、いまのメンバーがさ  
らに努力されている賜物でしょう。

しかし今年はコロナ禍により思うような活動ができない状況ですので、区会  
運営には役員および会員の皆様のご苦心されていることでしょう。会員同士の  
懇親会や行事が通常にもどり、早く実施できますことを願う次第です。

鯨城会では学園の入学者数の減少や入会率の減など課題が多くあります。令  
和 2 年度の鯨城会の行事はコロナ禍で軒並み中止となりました。さらに学園が  
1 年休校となり、来年は鯨城会入会者がいないという厳しい状況です。今後とも  
区会からのご助力によって鯨城会を支えていただきたくお願い申し上げます。



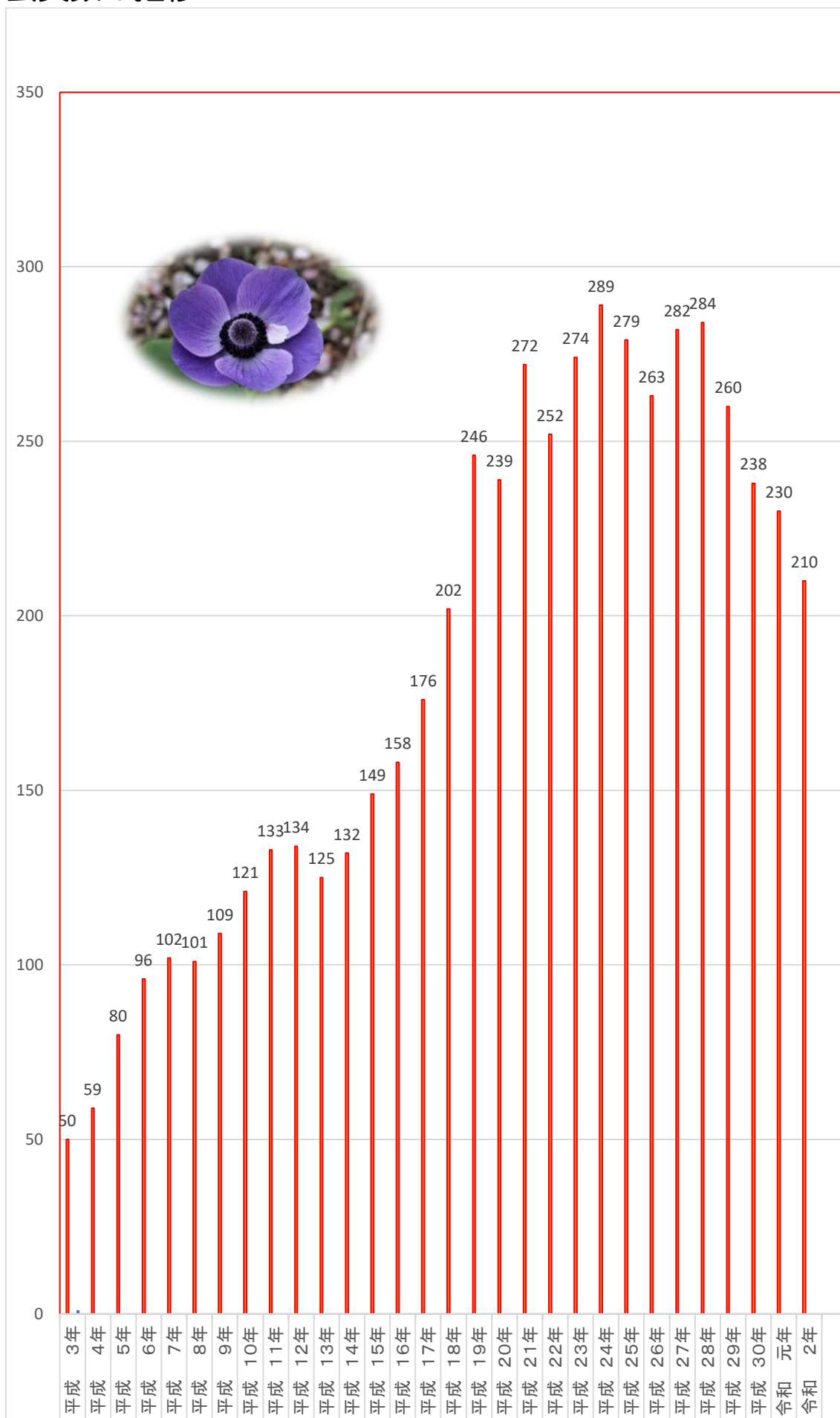
# 天白こじょう会の歩み

鯨城学園	<p>趣 旨：高齢者の生きがい作りと、地域活動の核となる人材の養成を目的として設立された。</p> <p>運 営：名古屋市社会福祉協議会が名古屋市からの補助を受け設立運営。</p> <p>設 立：昭和61年（1986年）4月</p> <p>学 長：西尾武喜 名古屋市長</p> <p>学 科：生活学科、文化学科、園芸学科 の3科にてスタート</p> <p>クラブ活動：7月より活動開始</p> <p>学生会：10月学生会会則施行</p> <p>学科追加：昭和62年陶芸学科追加となる。</p>
------	--

天白こじょう会	<p>創 立：平成3年（1991年）3月29日</p> <p>会員数：50人にてスタート</p> <p>会 長：中村 潔</p> <p>副会長：可児 保、坂 英代</p> <p>10周年：平成12年3月</p> <p>20周年：平成22年3月</p> <p>30周年：令和 3年3月</p> <p>30周年記念式典は新型コロナの猛威の為、緊急事態宣言が出ているため、まことに残念ですが中止とし、皆さんに記念品の配布を行い、祝意とした。</p>
---------	---



# 会員数の推移



## 行事実績表

年度	月	主な実施事項・参加人数	この一年の出来事
平年 23年	6	揚輝荘見学 43名	総理大臣 菅直人→野田佳彦
	9	東海リニア鉄道館見学 37名	流行語大賞 なでしこジャパン
	11	伊勢・おかげ横丁散策 41名	漢字 「絆」 3月 東日本大震災、原子力事故
24年	6	名古屋市役所本庁見学 38名	総理大臣 野田佳彦→安倍晋三
	7	中電名古屋火力発電所見学 28名	流行語 ワイルドだろお
	8	名古屋フィルコンサート 24名	漢字 「金」
	10	せせらぎ街道旅行 39名	山中伸弥ノーベル生理学医学賞
	2	プラネタリウム見学 45名	7月 九州北部豪雨
25年	5	無量寿寺かきつばた見学 14名	総理大臣 安倍晋三
	6	プラネタリウム見学	流行語 今でしょ、おもてなし
	7	名古屋港水族館	漢字 「輪」
	9	名古屋城見学 34名	長嶋茂雄、松井秀喜 国民栄誉賞
		名古屋大学博物館見学 37名	9月 東京オリンピック開催決定
26年	7	中日新聞辻町工場見学 23名	流行語 ダメよ～ダメダメ
	9	富士山五合目バスハイク	集团的自衛権
	11	名古屋大学減災館見学 38名	漢字 「税」
	12	「オレオレ詐欺対策」講習会 40名	4月 消費税8%へ 9月 御嶽山噴火 50人以上死亡
27年	7	相生山緑地、島田城 31名	流行語 爆買い、トリプルスリー
	8	伊勢湾水理環境センター見学 36名	漢字 「安」
	9	多治見核融合研究施設見学 35名	11月 国産三菱ジェット初飛行
	11	セントレア見学等 50名	3月 新幹線 青森→新函館北斗
	12	植田三山史跡散策 28名	開通
	3	南山大学人類学博物館見学 38名	
28年	5	史跡散策 天道・塩釜コース 37名	流行語 神ってる
	7	名古屋城天守閣・本丸見学 30名	ネット流行語 P P A P
	9	桶狭間古戦場と慈雲寺法話 26名	漢字 「金」
	11	西尾吉良ぶらり旅 37名	8月 リオオリンピック開催
	12	大須演芸場年忘れ寄席 25名	9月 熊本地震 大隈良典ノーベル生理学・医学賞





年度	月	主な実施事項・参加人数	この一年の出来事
29年	6	中日新聞本社見学 37名	流行語 インスタ映え、忖度
	7	産業記念館とノリタケの森見学 25名	漢字 「北」
	9	女城主の里見学と栗拾い 39名	10月 日本郵便のはがき、切手が
	12	大須演芸場年忘れ寄席 26名	10円値上げ
	3	天白農業センター梅まつり 30名	2月 羽生善治・井上裕太が国民栄 誉賞
30年	6	犬山城下町散策 28名	流行語 そだねー
	7	海から見える名古屋港見学 42名	漢字 「災」
	9	虎溪山・永保寺と栗拾い 45名	6月 名古屋城本丸御殿復元公開
	11	セントレア滑走路等見学 39名	7月 羽生弓弦 国民栄誉賞
		愛知ヤクルト工場見学 26名	9月 全米オープンで大阪なおみ 優勝
	3	植田三山史跡散策 22名	
31年 令和 元年	7	県警本部と丸之内界限散策 29名	流行語 ONE TEAM
	9	苗木城と栗拾い 31名	漢字 「令」
	12	豊明花き卸売市場見学 26名	5月 徳仁親王が皇位継承し天皇に
	2	学習会ふれてみよう回想法 23名	9月 ラグビーワールドカップ開催 10月 消費税が8%から10%に
2年		新型コロナウイルス感染対応で全ての 行事は10月末まで中止	総理大臣 安倍晋三→菅義偉 流行語 三密
	11	東山動植物園一万歩コース 19名	漢字 「密」
	3	八事音聞山史跡散策 16名	新型コロナウイルス感染症の世界 的流行、オリンピック開催延期 4月 緊急事態宣言発令 2月 二度目の緊急事態宣言

毎年の恒例行事として、4月／総会・懇親会、5・10月／アウトドア同好会共催でバーベキュー大会、9月／生涯学習センターまつり・趣味の作品展、1月／初詣を行っていますが、令和2年度はコロナのために総会は書面総会に変更され、その他の行事は11月の「東山一万歩コース」と3月の史跡散策をのぞいてすべて中止になりました。



苗木城



栗拾い

# 歴代役員表

作成日 令和3年4月1日

平成 年度	代	期	会長名	期	副会長	期	副会長	期	副会長
3	初	4	中村 潔	4	可児 保	4	坂 英代		
4	同上	4	中村 潔	4	可児 保	5	森本 和子		
5	2	5	川村 孝	5	大西一二三	6	酒井 孝子		
6	3	7	野口 泰朝	6	奥谷 益	7	村井 佑		
7	同上	7	野口 泰朝	6	屋敷 安雄	8	大井 善吾		
8	4	8	大井 善吾	7	庄田 昭二	8	鷺見 英保		
9	5	9	古川 信男	9	竹内 栄	10	杉浦 嘉春		
10	6	10	杉浦 嘉春	10	服部 卓	11	小菅 道雄		
11	7	11	八木 良三	11	小菅 道雄	11	村上 吉秀		
12	8	12	竹中 良己	12	西浜 祐二	12	名倉 英一		
13	9	13	可児 千尋	12	名倉 英一	14	阪井 聖忠		
14	10	14	阪井 聖忠	14	泉 宏	15	須賀 真一		
15	11	15	須賀 真一	15	大下 正利	16	尾関 一明		
16	12	16	尾関 一明	16	鬼頭 俊夫	17	石川 求		
17	同上	16	尾関 一明	16	鬼頭 俊夫	17	上利 淳		
18	13	17	上利 淳	17	武富 健治	18	奥野 修巳		
19	14	18	林口 強	18	奥野 修巳	18	田中 次郎	19	山崎 良樹
20	15	19	山崎 良樹	19	黒坂 貞夫	19	村田 勲保	20	伊東 覚
21	16	20	斎藤 正喜	20	大木 勝美	20	西 かずゑ	21	大角 勲
22	17	21	大角 勲	21	西口 功	21	大木 捷代	22	石川 芳夫
23	18	21	大木 捷代	22	梶 政治	23	坂井 詔男	23	松永登志子
24	19	24	豊田 悦造	23	坂井 詔男	23	乾 昌博	25	芹沢 郷
25	同上	24	豊田 悦造	23	坂井 詔男	25	辻本 勝	26	斉藤 昌和
26	20	26	斉藤 昌和	25	辻本 勝	25	大谷加津男	27	水野 寛美
27	21	27	水野 寛美	26	江口 哲朗	27	山内 勲	28	宮下 勝次
28	22	28	宮下 勝次	28	藪本きよみ	28	西尾 克己	29	坂井 慶喜
29	23	29	坂井 慶喜	29	黒木 朝子	29	石谷 清和	30	丹羽 桂子
30	24	30	金丸 正美	30	馬場 興樹	30	丹羽 桂子		
31	25	30	杉山 元浩	30	馬場 興樹	31	福永 時継		
令和2	26	31	福永 時継	31	市川 正信	31	中村 宏志	32	小島 明

# 歴代会長祝辞

## 第7代会長

健康・絆とこじょう会

11期 文化 八木 良三

会社生活50年、第2の人生をどの様に生きるか、その時先輩から、今までの人生経験や絆をどう活かすかの環境づくりを進める、鯨城学園の紹介があった。戦後の日本経済の成長に併せて、よりよい社会の環境を高める中、多くの方々が入学を希望（平成8年当時7～8倍）幸いにして入学が出来た。クラスには、学校の先生・銀行員・会社員・大工さん・警察官・主婦等、様々な方々であった、新たな社会生活の始まりであった。



地域の自治会・老人会・街路樹愛護会・友愛会・福祉協議会・ブロンズの会各種のボランティア等々、参加して30年これからも健康の許す限り絆を大切にしたい。

まずは健康を考え、リズム体操教室・プール・ウォーク等に参加している。

（経歴、鯨城会区会会長・  
天白こじょう会会長）



天白リズム体操教室練習風景

## 第13代会長

天白こじょう会 30周年を迎えて

17期 園芸 上利 淳

今回、天白こじょう会創立30周年を迎えられたこと心よりお喜び申し上げます。



確か天白こじょう会は平成3年3月に設立され、初代会長は中村潔さん（4期）、鯨城学園は初代学長の西尾市長、校舎は中区栄の教育センターで、文化・生活・園芸・陶芸の4学科と聞いていました。それからこの30年の時間の経過はすごいものだと思います。共にこれまでに成長させていただいた指導者と会員の貢献に感謝の拍手を贈りたいと思います。しかし、天白こじょう会は永遠に不滅です。これまで育てていただいた大切な遺産を大切に守り、この先40年50年と皆で手を取り合って育て、素晴らしい花を多く咲かせて地域に相応し「新高齢者文化」を構築したいものです。それには「安心：終活」の構築が必修科目では?? 【散る桜、残る桜も散る桜】人はみな天寿まっとうする宿命があります。しかし、決して急ぐことはない。人を愛する心、人を恋する心を大切にして、一度だけの人生、悔いのないように持って生まれた情熱を完全に燃えつくして、ゆっくりと「天寿への坂道」を登って行けばよいのではと思います。

天白こじょう会ではいろいろな方との出会いがあり、青春の嵐を感じることもでき、忘れていた青春を覚えることもでき感謝しています。

## 第 19 代会長

天白こじょう会創立 30 周年おめでとうございます

24 期 美術 豊田 悦造



平成 23 年 3 月に卒園して入会したその年の 12 月役員会終了後、18 代会長大木捷代さんから会長就任の要請を受けましたが即座にお断りしました。しかし、当時の役員の方から運営協力するからとのお話でお受けすることになりましたが、その時名古屋市社会福祉審議会での事業仕分けに於いて鯨城学園は廃止判定となっていました。存続を求めて 23,189 筆の請願署名を市議会議長に提出。その後「抜本の見直しが前提条件」で学園存続が決定しました。学園は大幅な授業料値上げと同時に定員の大幅な増加をはかり今に至っています。

このままでは鯨城会への入会者が減少すると考え NPO 法人化を提案しましたが、会員の賛同を得ることが出来ませんでした。

鯨城学園の入学者が増加しなければその OB 会である鯨城会への入会者増加は見込めません。一人でも多く入学して頂き、会員の増加を願います。



## 第 20 代会長

天白こじょう会 30 年周年に寄せて

26 期 国際 斉藤 昌和



令和 3 年は天白こじょう会 30 周年を迎えるにあたり心よりお喜び申し上げます。オリンピックとも重なり記念ある年となりました。令和 2 年は新型コロナの影響で活動が大幅に制限されて、日本や世界全体がその影響を受けて、大変な年でした。コロナ終息が早くあるように願うばかりです。

人間の寿命は延びて人生 100 年時代と言われる様になりました。幕末から明治にかけて活躍した医師に徳島に関寛斎という方がおられました。医師として悠々の境遇を捨て、74 歳の時「人生期 100 歳 70 歳これ中期」と述べて、北海道の荒野に開拓に入られたのです。極寒の陸別町に医師と農夫として活躍され、高齢で新しい事に果敢に挑戦されました。私も彼の様に常に新しい事に挑戦する気持ちを持ちたいと願っております。さてこれからの課題ですが、まず心身ともに健康で、地域や友人の関係を良くし、こじょう会の活動に積極的に参加することです。今後ともよろしくお願い致します。



## 第22代会長

### 天白こじょう会と私

28期 文化 A 宮下 勝次



天白こじょう会創立30周年おめでとう御座います。早いもので私が天白こじょう会にお世話になってから、5年が経過しました。1980年（昭和55年）初めて転勤である名古屋の土地を踏んだ時は、天白のことは勿論のこと、名古屋市内の事も全く分からず、あれから40年、縁が有って鯉城学園にお世話になり、2年間良く学びよく遊び、名古屋のことも少しづつ分かってきました。1994年（平成6年）10年間の東京単身赴任を終え、名古屋に戻り本格的な名古屋の生活が始まった訳です。

天白こじょう会の思い出として忘れられないのは、最初の28期代表選出に際し、立候補者が無く、困っていた私がくじ引きで決めたらと提案した所、何を間違えたのか、それじゃくじ引きの提案者にやってもらったらと、意見がまとまり、最初の1年は先輩の後をチョロチョロついて行くだけで用事が足りましたが、2年目はいよいよ会長職が待っていました。副会長として1年経過しましたが、全く自信は無く、なんとかして逃げられないかいろいろ考えたが名案が無く、仕方なく引き受けることになるが、これからは素晴らしく協力してくれたスタッフの皆さんに感謝感謝の連続で、無事1年間の任務を全うすることが出来ました。私にとって天白こじょう会は、忘れられぬ2年間であったと思い、改めて協力いただいたスタッフの皆さんには重ねて感謝申し上げます。天白こじょう会の更なる躍進を期待しております。



## 第23代会長

### 29年度を振り返って

29期 環境 坂井 慶喜



29年度を振り返ってみて一番印象に残っているのは、初めて開催された「16区フェスティバル」でした。まず代議員会で提案された時に頭をよぎったことは、はたして会員が参加してくれるだろうか？ などいろいろ考えましたが、それは杞憂でした。12月の寒い時にも拘らず多くの会員が積極的に参加していただき、とても盛大に行われた事が思い出されます。

次は作品展についてです。なかなか作品が集まらず、行事担当のリーダーを先頭に係の方々と役員全員が手分けをして、会員の皆様に出展頂けるようお願いを致しました。おかげ様で多くの作品を展示することが出来ました。

まだまだ色々なことがありましたが、一年間を無事終えることが出来ましたのは、2名の副会長と総務、行事、広報、ボランティア等のリーダーの方、各係の方、さらに天白こじょう会全会員の皆様のおかげと心より感謝いたします。

## 第24代会長

出会い・ふれあい・わかちあい

30期 生活B 金丸 正美



天白区の花いっぱい運動「コスモス花壇」植栽では、出会い・ふれあいの貴重なご縁を頂きました。真夏の酷暑の中での水やり、雑草取り等作業のわかちあいを通して、天白こじょう会の諸先輩との連携を築くきっかけを頂きました。

コスモス植栽は出雲常俊さんが中心となって5年間続けられました。

天白こじょう会のブロック会、ボランティア活動、同好会に参加し多くの方との出会いを通して知見を得たことは、私にとって全くの僥倖でした。それぞれのコミュニティでのアクティブシニアの活躍が楽しく思い出されます。

これからは、新型コロナによる社会の大きな変革と共に天白こじょう会も従来とは違った在り様を求められるでしょうが、基本的な価値を見失わないで、新しい変化のときを柔軟に楽しんでいけたらと思っております。



## 第25代会長

有用で大切な天白こじょう会

30期 国際B 杉山 元浩



天白こじょう会が、平成3年3月に発足して、令和3年度に30周年を迎えることになりました。この間、天白こじょう会の組織の維持と発展、活動内容の充実に、日々尽力されて来られた諸先輩方、会員の皆様方のご努力に対し、敬意と感謝の気持ちで一杯です。

いろいろな機会を設けて、会員同士の親睦をはかり、またボランティア活動や美化(清掃)活動を通じて、ささやかながらも地域や社会と繋がりを持つことは、素晴らしいことと思います。私も同好会やボランティア活動に参加させてもらい、その都度、相応の楽しさや充実感を感じ、寂しさを感じたことはありません。我々高齢者にとって有用で大切な、この天白こじょう会が、今後とも維持され、発展していくことを願って已みません。

昨年3月頃から新型コロナウイルスの感染が拡大して、天白こじょう会の活動に混乱と支障をきたし、重要な先回の総会(令和2年度)も出席会員が一同に会することは避け、書面による総会に切り換えざるを得ず、また今回の30周年記念事業も式典は中止し、記念誌の発行と記念品の配布に留めることになりました。

私としても残念至極の気持ちですが、しかし、いずれ感染は終息するでしょうから、皆で力を合わせて頑張りましょう。

# 現役員挨拶

## 副会長

皆でつくる楽しい天白こじょう会

31期 地域 A 市川 正信

30周年おめでとうございます。先日ある介護施設で「こじょう会の人に助けてもらってます」「こじょう会楽しそうだね」との声を聞きました。こうした声は、この30年間の歩みの中で、先輩方が地域貢献したり、仲間と楽しく地域巡りをしたり、趣味を広げたりして実績を積み重ねてきたことが地域の人に受け入れられたからに他なりません。その歩みを今後も力強く引き継いでいかなければなりません。しかし入会率の低下に伴う会員数の減少、運営役員の配置といった課題に直面しているのも事実です。こうした状況を打開する特效薬はありませんが、アイデアを出し合い難局を乗り切らなければなりません。今後も会員減が予想される中、これからは会員が受動的に行事やイベントや同好会に参加して楽しむことに加えて、一人一人が能動的に何らかの形で参画する会の運営をみつけていく必要があると感じています。そして天白こじょう会のスローガンである「仲間づくり」「健康づくり」「楽しみづくり」を目指していけたらと思っています。



## 副会長

天白こじょう会創立 30 周年に寄せて

31期 生活 A 中村 宏志

私のこじょう会との関わりはクラブの先輩からの勧誘がきっかけで途中入会したことによります。こじょう会で何をやるかとの選択の中で今まで経験のなかったボランティアを選択しました。

毎月の定例行事として二か所での清掃・入所者との会話 行事としては各施設でのお祭り行事支援、その他屋外行事では区・鯉城会・名古屋市が主催する行事に加え、ウィメンズマラソンと幅広く活動に参加することが出来ました。こうした活動を通して隠れた才能にあふれた様々な人に触れ合うことが出来たことは私にとって大きな刺激となりました。

30周年というのは大変な事で諸先輩のたゆまぬ努力の結果だと思います。最近では会員高齢化と新規入会者減が顕著な為に会の運営に頭を悩ませる事が多く、今後身近な健康問題を扱った行事やブロック会活動の活性化で会を盛上げる事が必要かと考えます。



( あしたの丘にて撮影 )

## 副会長

### 副会長としての役割

32期 地域B 小島 明

2019年の春に天白こじょう会に入会しましたが、母の介護も有り最初の半年は全く参加できず、秋の終わり頃から少しずつ活動を開始しました。



元々クラス(地域B)では社会参加のリーダーと旅行や宴会の企画をしていたので、与えられる役職は何でも良く、副会長(行事兼任)を受けましたが、その後の企画は全て中止、センターまつり・趣味の作品展、16区フェスタも中止となり、役員会の打ち合わせとこじょう会だよりの発行手伝いで一年が終わってしまいました。

こんな状態の中で4月の役員改選となりますが、今期は鯉城学園の卒業生も無く、来期の学園も実施出来るか非常に不安定な時期に突入しようとしています。新規会員数も年々減少し、このままでは近い将来、会の存続が危ういと思われれますが、こんな時こそ、世代を超えた組織の改造を行い、皆さんと一緒に天白こじょう会のために活動することが重要と思います。

我々はこの天白こじょう会を、コロナ感染禍において、慎重に三蜜を回避しながら、何をすれば良いのか役員全員で話し合い、皆さんの健康を確認しながら、楽しい会にしたいと思っています。

今後とも会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

## 総務リーダー

### 想 い

31期 生活B 伊藤 初枝

高年大学の入学式で学園長が、「卒業されたら地域で活動と奉仕を」とお話をされましたので天白こじょう会に入会し、施設訪問・清掃・各行事等参加しております。



以前読んだ本の中に「高齢になってもみんなのために、自分にできることは何かを考え、行動し、周囲の人や、お年寄りに声をかけて、励まし合い、いつまでも目標を持ち、希望と喜びを持って生きていくことが大切です」とありました。

天白こじょう会でさせて頂いていることは、まさにこの実践と考えます。先輩たちが、いままで培って来てくださったおかげで施設訪問等でも笑顔で迎え入れて下さっています。

会員数が年々減少傾向にありますが、天白こじょう会が発展していくように願っております。





## 広報リーダー

### 天白こじょう会との関わり

31期 陶芸 川島 英良

私の天白こじょう会との関わりは、学園卒業生が集まって、地域の発展、ボランティア活動、ブロック会、趣味の同好活動や種々の催し物を通して交流の機会が有る事を知り、クラス、クラブの仲間以外でも交流を深めてコミュニケーションを図り、会話を通して親睦が出来たら有意義に過ごせられるのではないかと思ったことからでした。入会当初から広報役員として関わり、今年で4年目を迎えていますが、当初は広報誌をどの様に作りあげていくか、手順のイロハを知らない状態で不安のスタートでした。昨年後半から広報リーダーとなり、投稿された原稿の字の大きさ、書体の違い、写真の貼付け、全体のバランス、レイアウト、校正など様々な問題に遭遇し、先輩の援護を貰いながらの作業となりました。



新規入会者の減少と会員の高齢化が進み、組織としての運営維持など検討課題が増えつつありますが、先輩方が会の発展のために築き上げた歴史の重さを大事にして、改革できる案件は見直しながらより良い組織にして、更に発展することを望んでいます。



## 鯨城会幹事

### 今後ますますの発展を願って

30期 国際 A 水本 進

諸先輩の方々が面々と築きあげられた、天白こじょう会30周年記念号に寄稿する機会をいただき、お礼申し上げます。

私の学園での専攻は国際で、クラブはフォークソングでした。特にクラブ活動では、歌を通じて各種施設へのボランティア活動を行い、入居者の方に喜んでいただくと同時に、私達もまだ社会貢献ができる喜びと元気を沢山貰いました。そして卒業後、この活動を継続したい思いでこじょう会へ入会し、ボランティア役員になりました。



サラリーマン時代は、損得・上下関係社会で多くの皆さま同様に過ごしたわけですが、こじょう会に入り正直面倒な点もありますが、それ以上に得るものがあると感じて居ります。

現在こじょう会会員の減少傾向に歯止めがかからない状況が続いて居ります。言うが易し、実行が大変と思いますが、会員にとって楽しいことを継続することが、会の維持拡大に続くのではないかと考えています。

天白こじょう会の今後ますますの発展を願って居ります。



# ブロック長挨拶

## 御幸山ブロック長

天白こじょう会創立 30 周年によせて

29 期 生活 A 佐々山 浩将

天白こじょう会設立 30 周年おめでとうございます。  
晩年、歴史と伝統のある当会に所属していることに、誇りを持ち活動してまいりましたが、昨年初めからの“コロナ禍”により、全ての活動がほぼ出来なくなってしまいました。



現在、ブロック会、麻雀同好会の 2 つの会のまとめ役を任されていますが、いずれも予定通りの活動が出来ず困窮しております。これは、私だけではなく同じ立場の皆様も同様と思います。

一年前の今頃は、夏になれば感染も収まるのでは……と楽観視しておりましたが、それほど簡単ではなかったようで、一年後の今漸く「ワクチン接種」の具体的な話題が出るようになりました。大いに期待するところです。

今後この“コロナ禍”において、どう活動していくべきか？未だに対処法が見えない状況ですが、会員皆様のご協力の元 2021 年度は少しでも以前の状態に戻すよう、微力ながら尽力したいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

(活動状況)

- 御幸山ブロック会 (会員：47 名)  
2020 年度：活動実績なし  
2021 年度：計画練り直しの上極力実施 (4 月以降)
- 麻雀同好会 (登録会員：12 名)  
2020 年度：年間 12 回のうち 5 回実施  
2021 年度：年 12 回予定 (月 1 回)



## 天白ブロック長

天白ブロック長として

28 期 文化 B 宮前 裕道

天白こじょう会 30 周年おめでとう御座います。私は 2013 年 (平成 25 年) 1 回で入学し、平成 27 年卒業と同時に天白こじょう会に入会しました。この時の鯨城学園は 2~3 倍の倍率で、なかなか入れず数年たってようやく入学できたとの人も多くいました。29 期生から入学金と授業料金の値上げがありました。この時から入学する人が徐々に減り、定員に満たないクラスも出る現状となっています。



鯨城学園は 2 年間の学園生活で、知識を得ると共に、友達作りの輪を広げ、高齢時の生きがいを作り、卒業後は各地域でリーダーとしての役割を受け、地域を活性化させると共に、各自の生きがいを見いだしていく事を目的としています。最近この学園の設立趣旨



を見失った状態となっています、残念です。

卒業 1 年後天白ブロック長となり、入会者が少なく今もって継続しています。現状の人数減少は何が原因なのか不明ですが、各々の役割をしっかりと受け止め、生きがいとして行き、なんとか現状を回復するようにお互い頑張り、今後も末永く続くように皆さんと共に頑張っていきましょう。

## 南天白ブロック長

南天白ブロックについて

30 期 健康 A 井熊 重義

私が当ブロックを受け継いだのは、先輩の大谷氏が急遽お亡くなりになり、会の先輩より推薦されてから今日まで務めさせて頂いています。



年に 2 回ほど懇親会を開き、会員の皆様とそれぞれの近況を話しながら絆を深めてまいりましたが、コロナ禍の為に全ての活動が停止となり、一時期、拡大役員会にて連絡委員と打ち合わせの中で計画を考えましたが、感染状況をかんがみ残念ながら開催出来ておりません！

次期、懇親会については今後のコロナの状況を見て検討します。



## 原ブロック長

原ブロック長として

29 期 地域 A 小川 司朗

私が昨年、前ブロック長の鈴木泰治さんから引き継ぎました。今年 5 月に 1 回目の原ブロック会を予定しましたが、新型コロナウイルスの為に中止となりました。そして、先日鈴木さんと相談しまして、11 月 13 日（金）11 時から若松・原店にて、会長を含め 8 人の参加で行いました。



今後新型コロナウイルスの事もあり、鈴木さんを始め、先輩方々と相談して行いたいと思います。



## 平針ブロック長

平成から令和へ

28期 地域 西尾 克己



「天白こじょう会」は平成の歴史である。そんな思いがいたします。平成3年に生まれ、第一期生からなる先輩たちが基礎築き、10年・20年と会の伝統を作り上げてこられた先輩たちに敬意の念を抱きます。

そして令和へと。「天白こじょう会」令和での成長を願いたい。私は27年度に入会し翌年副会長として会の運営に携わることができ、当会歴史のひとコマに参加できたことを誉に思うところです。

令和元年に平針ブロック会・囲碁同好会の世話役を引き継いだ。ブロック会は貴重な交流の場。令和元年5月「浮世絵・陶磁器の鑑賞と日本料理を楽しむ」を企画。会場はマスプロ美術館で素晴らしい作品を鑑賞し皆が称賛した。同年9月、針名神社禰宜職の連（むらじ）氏を招いて神社の歴史や神道についての講和を拝聴した。同年11月「八事山興正寺を訪ねる」と題し、趣ある茶室「竹翠亭」でお茶を頂きながら興正寺の歴史や文化財の解説を伺った。ブロック会の行事を通して新しい発見や参加者の笑顔を見ることがとても楽しみだ。今後もブロック会を以って、天白こじょう会令和の歴史作りのひとコマを綴りたい。

## 愛護会挨拶

### 戸笠公園愛護会

<sup>とかさ</sup>「戸笠公園・愛護会」 あれこれ

24期 生活B 八木 勝男



戸笠公園は昭和40年1月に創設され野球場・テニスコートそして春はソメイヨシノの桜等でお花見もできるスポットです。公園の広さは4.52ha（約1万4千坪）です。

戸笠の名称は戸部村、笠寺村から引用され水溜池として作られた。

（天白地史考；浅井金松著より）。標高は37.5mです。公園愛護会とは名古屋市と公園周辺の地域住民の皆さんと協力して、公園をきれいに保ち、安心・安全で楽しく市

民が利用できるように清掃活動している会です。そしてこの公園は昭和60年に都市計画の一環として天白土木事務所の保護・管理の



令和3年1月16日撮影

元、天白区身体障害者福祉街づくりの皆さんの善意によりつくられた広場でも

あります。

戸笠公園愛護会は、創立平成12年5月、本年で22年目となり、皆さん元気で活動しています。コロナ対策緊急事態宣言発令中ですが一つの光としてワクチンに期待したいですね。



戸笠公園令和3年1月撮影

## 天白公園第4愛護会

### 愛護会の活動について

27期 地域 水野 正弘

当愛護会は、2011年8月より活動を開始しました。21期大角氏（故人）が初代会長、23期坂井氏の後を受け、27期水野が3代目です。



活動は、天白公園内の北西部の西の山一帯の清掃です。毎月第4土曜日の9時に西の山遊園地の横に集まり、参加者の確認、連絡事項等情報交換を行った後、愛護会で準備してある手袋、ゴミ袋、トングを持って、西の山の周回道と山の中の遊歩道に3名～4名のチームに分かれ、各々周辺のゴミを集めます。集めたゴミは分別し、器具庫内に置いておきます。後日、専門業者により回収処分されます。

最近では毎回7名程度の参加で少しさみしいですが、活動当初に比べるとずいぶんゴミの量は減りました。活動の成果が出ていると思います。

このエリアは、全エリアが樹木に覆われ、緑が多く、芽吹き、新緑、紅葉、落葉と四季を通して、季節感の味わえる気持ちのいい所です。

土曜日の朝、ウォーキング気分のできる地域貢献です。仲間を増やし、健康維持にもなります。気軽に参加してください。清掃した後、公園内で春は花見、秋は紅葉狩りの楽しみもありますよ。



# 天白川緑道清掃

## 清掃美化活動

24 期 美術 豊田 悦造



緑道の清掃活動は、多くの諸先輩方のご努力で平成 21 年度に区役所の承認を得て始まりました。それ以後毎年活動計画申請を行い継続しています。当初は「天白川・植田川緑道の美化活動」として 2 班に分かれ、一方は現在実施している区役所北側の天白川両岸の清掃を行い、他方は地下鉄植田駅から区役所まで植田川の両岸の清掃を行っていましたが平成 29 年 3 月で終了しています。

天白こじょう会では黄色のベストと帽子を会員の皆さんに貸与しています。この美化活動補助金で必要な清掃用具購入の他ユニホームの購入資金の一部としています。

これからも永く活動を続けボランティア活動が区民の皆様の支持が得られるよう頑張っていきます。

近年は高齢化が進み参加者が減少しています。月 1 回 1 時間の活動です。健康の保持増進のための散歩をかねて一人でも多くの会員各位に参加をお願い致します。



令和 3 年 2 月 12 日撮影



# 同好会挨拶

## 健康ウォーク

### 楽しいウォーキング

27期 地域 水野正弘

当同好会は、2016年4月に発足しました。天白こじょう会の27期会の懇親会の席で、「気楽にウォーキングができる会があるといいね」という要望が出されました。当時天白こじょう会で行事委員をしていた私が、一番苦労していたことは「行事計画をタイミングよく会員に連絡すること」でした。そこでこの苦労していた事を解決する方法として、思いついたのが「定期・定起点コースウォーキング」です。



すなわち、定期：毎月1回、第1水曜日、9:30原駅集合。定起点コース：原駅から天白川の堤防を歩く。これだけ決めておけば、あとは連絡不要という事で、スタートしました。

第1回目は、天白川の桜を見ながら島田の護床工まで往復しました。その後、天白川を中心に植田三山、旧平針宿から針名神社、日進岩崎街道とモデルコースを設定し、1.5時間～2時間ほどウォーキングを楽しんでいます。

最近では、八事興正寺界限、笠寺台地ウォーク、熱田台地ウォーク、東山一万歩コース等、敬老パスで行けるところに範囲を少しずつ広げています。皆様の協力のおかげで、毎回15名程の御参加を頂いております。これからも、むりせず、参加者全員でワイワイガヤガヤやりながらウォーキングを楽しみたいと思っています。



熱田神宮



東山植物園



植田八幡社



高座稲荷社

## リズム体操クラブ

天白こじょう会 30 周年に寄せて

20 期 生活 A 西 かず彥

天白こじょう会 30 周年おめでとう御座います。私が鯉城学園を卒業して天白こじょう会をお手伝いしている頃 20 周年でした。原稿を各所にお願いに奔走したものです。



20 期を卒業と同時にリズム体操クラブに入会しました。場所は平針公民館で不便な場所と感じました。

当時は会員 80 名以上で、大勢過ぎて手も振れなくて、舞台に 10 名位上がって体操をしていました。このリズム体操は非常に身体に心地良くて、身体の普段は伸びていないところ等を伸ばし、転倒予防にもなります。私たちの年齢は転倒が一番怖いです。

入会者、退会者など移動もありまして、会員は少なくなりましたが「やはり体操すると身体が軽くなり快適です」との会話が聞こえてきます。

今年は何処でもですが、新型コロナの影響で休会した月が有りましたが、7 月から検温、消毒、換気を行い、間隔を空けて、細心の注意をしながら皆さん体操を楽しんでいます。

人生 100 年の時代と言われる現代、楽しく体操して快適な人生を送りましょう。



## パソコン研究会

パソコン研究会の現況と今後の課題

24 期 美術 豊田 悦造

近頃、政府に於いてはデジタル庁の新設を決定、新型コロナウイルスの蔓延に対してテレワークの活用を行い、通勤者の 7 割削減などと我々高齢者には、大変むづかしい話ばかりです。



さて、私たちパソコン研究会は平成 22 年 10 月 18 日に 13 名の参加でスタートしました。当初は講師も会員の方をお願いをしていましたが、現在は南区 17 期の松川先生に講師を依頼、指導員（私を含む）も 4 名となりました。平成 23 年 4 月からは参加者が多くなって、経験あり、そして初めてのパソコン体験者など、午前 1 クラス、午後は 2 クラスとして最大 38 名の申込者を受け入れ運営をしてきました。

しかし、令和元年 4 月、会場としていました、天白生涯学習センターが指定管理者の運営となり、それまで使用していた IT 講習室の使用が出来なくなりました。そこで、第 2 集会室を中心に続けていますが新規の入会者が望めず、昨年 4 月から午後の 2 クラス（28 名）の教室となっています。日程は行事予定



表の通りです。

コロナの終息も見えない大変厳しい状況ですが関係者のご協力を得て継続してまいりますのでご支援宜しくお願いします。

入会ご希望の方は 鈴木泰治会長 電話 805-4733 (FAX 共) までご連絡ください。



## 絵手紙の会

### 「絵手紙の会」の近況

27期 国際 古橋 富美代

私たち「絵手紙の会」は平成 27 年 4 月にスタートしました。立ち上げのきっかけは日本絵手紙協会公認講師にご縁があったからです。経験豊かで、丁寧かつ情熱一杯の先生の下、毎회가感動し素直な自分と向き合っていて楽しんでおります。



「絵手紙」とは、果物や野菜、美しい花や、手に届く身近な物を材題にして短かい時間でサッサと描きます。「ヘタでいい、ヘタがいい」と言います。上手に描こうと思わないで心を込めて一生懸命に描けば相手の心を打ちます。そして、その時に感じた言葉、伝えたいメッセージを添えます。形式的な時候の挨拶なんか必要ありません。話しかけるような気持で気楽に短い言葉を書けば良いのです。絵手紙は「作品」ではなく「手紙」なので身近な人に送ってみませんか？

当初は 16 名でスタートしましたが、途中増減数があるものの最近では新規の入会者を望めず現在は 9 名となっております。コロナの下大変厳しい状況ですが、先生を中心に会員相互の協力を得て継続しております。教室は、毎月 1 回 第 3 水曜日、場所は天白在宅サービスセンター 3 階です。ご興味のある方は是非一度遊び心で覗いてみて下さい。

ご入会ご希望の方は、北條道子会長 Tel833-5237 迄ご連絡下さい。



# アウトドア同好会

青空の下で和気あいあいと

26期 国際 齊藤 昌和

天白こじょう会 30周年心よりお喜び申し上げます。

アウトドアは 10 数年ほど前に 19 期と 20 期の有志の方 5 人で立ち上げて頂き今日まで至っております。当時は春（4月）夏（7月）秋（11月）の年 3 回開催されていましたが、私が参加致しました平成 28 年は春（5月）秋（11月）の 2 回になっておりました。そして行事と合同で開催することになりました。最初は山形県の名物芋煮会で、平成 29 年にも再度芋煮会を致しましたが、費用の関係で、現在は焼肉やおでん、焼きそば、ソーメン中心になりました。費用は 1000 円程度です。現在の世話人は 5 人程度と行事の担当者数人で買い物や荷物の運搬及び当日の食事の用意にあたり、終了後のゴミの撤去等にあっております。



新型コロナの影響で酒や食事を多くの人数ですることはクラスターの発生の原因になりますので、令和 2 年度より開催の中止を致しております。

令和 3 年度も開催の見込みは残念ながらありません。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



右下は令和元年度鯪城会会長・飯田恭久様。昨年 2 月他界されました。この 2 年続けて演奏に来て下さった。



## 短歌二首

26期 国際 齊藤 昌和

☆ 歳月は静かに流れコロナ禍を避けて三十皆で祝えり

☆ 踏まれても真っすぐ育つ麦のごと天白こじょう永久に栄える



## カラオケ同好会

32期 福祉B 綿貫 幸夫



天白こじょう会、30周年おめでとうございます。  
先輩方の努力のおかげで、色々な同好会活動が活発に行われています。

その中で、我らカラオケ同好会は毎月第一月曜日の午後2時から4時までの2時間の活動を実施しています。

メンバーは常時7名～13名が集まり、和気あいあいと頑張っています。皆さんそれぞれ新しい曲を覚えてきて歌うので、ついてゆくのには四苦八苦しています。今はコロナ禍の為、8人部屋が4人までの入場制限となっており、マイクは4本（カバー付き）、勿論手の消毒が基本になっています。

この騒ぎが早く収束し、数多くの皆さんの参加を心待ちにしています。



## グラウンドゴルフ (GG)

同好会立ち上げ 13年

18期 生活B 林口 強



天白こじょう会創立30周年 おめでとうございます。  
GG会も2008年2月に立ち上げ、今年で13年になります。最盛期には会員数30余名を有していましたが、現在は23名とやや先細りの状態です。

立ち上げ時には、村田氏、伊藤（照）氏、田中氏、故斎藤氏などの皆さんでプレーする公園を確保されるなど大変なご苦勞をされたおかげで、現在の安定したプレーが楽しめます。ひとえに立ち上げ時の皆さんのご苦勞に感謝しています。

グラウンドゴルフは三密にならず、近隣の公園で、ゆっくり歩けばプレーが出来、80歳代の皆さんも楽しめる素晴らしいスポーツです。お気軽にお仲間どうぞ。毎週木曜日、金曜日の午前中楽しんでいきます。



# 会員投稿

## 楊名時太極拳に出会えて

30期 国際B 馬場 興樹



偶然にも高年大学に入学した時、太極拳クラブ募集のくじ引きに当たり、67歳にして始めたのがきっかけでした。当初の1年間は全くその動きについていけず先輩の後ろについてひたすら真似る事でした。指導する師範の先生はクラブの先輩でもあり大学の文化祭発表に向けて、熱心に24式演舞を指導してくださいました。卒業する頃にはすっかり太極拳に魅了されていました。30期の仲間とともに卒業後もそのままクラブのOB会でもある高年大学太極拳同好会に入り、また先生方のご紹介で他の師範の教室でも指導を受けるようになりました。



太極拳と出会ってまだ7年目ですがあらためて太極拳の身体的、精神的奥深さにますます興味を覚えて勉強する毎日です。現代の生活には雑多な情報が溢れ、急速なデジタル社会に変革していく中、いやが上でも周りに振り回され自分を見失いがちになります。太極拳は心・息・動の統一を求めます、無心・無我になること・深い永い腹式呼吸であること・立ち姿美しく下半身が充実した柔らかい動きであることを目指しています。私の日課には太極拳の稽古があり、これが精神的にも身体的にも癒されて健康の維持に繋がっているのではと思います。

6年後の師範資格を目指してこれからも充実した稽古を重ねていきたいと思っています。この先、本会の中に同好の仲間が出できればと願っています。



## 天白こじょう会一年の感想

33期 地域A 青山 博美



ご承知のように今年一年は新型コロナの影響で殆ど活動に参加できず、改めて感想と言われても困ってしまいます。元々鯉城に入ったのは、父・母を相次いで亡くし、一人していると話し相手もなくこのままではすぐにボケると思い、会社の先輩や同僚が入っていた鯉城に入学したもので、卒業後天白こじょう会に入ったのもその繋がりを切りたくなかったのと、新しい人たちとの交流があればと考えたからです。そう言う意味ではこの一年は大いに残念と言う他ありませんが、同期の小島範雄さんと知り合えたことや、緑道清掃に参加するようになったことは良かったと思います。(他の活動は土曜日で、町内の活動と重なるので避けました)

今は、兎に角、早くコロナが収束して、皆さんと気楽に活動できるようになるのを待つばかりです。それまでは自分一人でもできること(街道歩きや鯉城に入ってから始めた古文書の勉強等)をやって行こうと思っています。あ、それと総務の活動も。



## 「空白の1年」

33期 国際B 小島 範雄



令和2年2月28日、第2学年共通講座終了後の「来月3月から新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言が発令された為本学園は休校いたします」との案内が、この1年のスタートになるとは誰も思っただけではなかったはずでした。

しかし現実には「空白」のスタートで、卒業式は中止、卒業証書は郵送、クラスの謝恩会・クラブの送別会は幹事が内容や会場に関して盛り沢山の計画をしていましたが、中止に追い込まれました。当初は4月に延期と軽く考えていましたが、状況は益々厳しくなり最終的に中止。尻切れトンボで残念な結果となりました。その間、学園も「教室の定員を半数に減らし何とか9月再開」を計画しましたが、最終的には3月迄の休校が決定しました。

天白こじょう会に入会しましたが、各種イベント自体も中止せざるを得ない状況で、活動はほとんど出来ませんでした。

令和3年度もまだまだ厳しい状況が続くと思われませんが、出来る範囲での活動をとしたいと思います。





## 水野寛美さんを偲んで

## 追悼

24期美術 豊田 悦造

30周年記念誌発行の準備は、あなたが第21代天白こじょう会会長就任時（平成27年4月）から資料収集について計画立案をして頂き今日ここに発行する運びとなりました。また、同期会活動にも積極的に取り組んで頂きました。私にもお声がかかり令和元年11月、長野県白馬村へ一泊バス旅行にも参加しました。そして楽しい時をご一緒できたことを心よりお礼いたします。



水野さんとの出会いは区政協力委員として町内の代表（町内会長）で活動した時でした。当時、私は鯨城学園（24期）に在学中でした。そして平成24年4月に第16代天白こじょう会会長として活動する中で、学園入学を勧めていたところ、27期、環境学科生となりました。又あなたは学区の保健環境委員会会長、そして天白区の保健環境委員会副会長の要職を務められ、現職のまま令和2年10月6日に逝去されました。あまりにも突然で残念です。天白こじょう会会員の皆さんとともに、ご冥福をお祈りいたします。 合 掌



ホテルグリーンプラザ白馬にて  
令和元年11月11日（月）撮影 2列左端が水野寛美さん



# 編集後記

皆様のご協力誠にありがとうございました

29期 地域B 石谷 清和

天白こじょう会 30周年記念特集号を、皆様にお届けすることが出来ました。これもひとえに関係各位様、会員の皆様のご協力の賜物と心からお礼申し上げます。

30周年記念行事は、平成30年に「準備委員会」を立ち上げ、記念式典の日程・会場設定、記念誌の内容など具体的な進め方まで設定し、令和元年にはそれを推進する「実行委員会」にバトンタッチしました。しかし新型コロナウイルスの影響により、記念式典は取りやめ記念誌の発行と記念品の配布に変更を進めてきました。コロナの感染防止のため顔を合わせたの編集会議などは慎重に行い、またリモートを併用して進めるなど、委員の賢明な努力により発行することが出来ました。

30年を振り返るとともに 次の10年・20年に向けたメッセージとして皆様に喜んでいただければ幸いです。

皆様のご協力誠にありがとうございました。

## 〈 準備委員会委員 〉

27期 山内 勲 故水野寛美

(水野寛美様には貴重なご意見をいただきました。謹んで御冥福をお祈りいたします。)

28期 宮下勝次 出雲常俊

29期 坂井慶喜 黒木朝子 石谷清和

30期 金丸正美 水野勝隆

## 〈 実行委員会委員 〉

28期 宮前裕道 29期 石谷清和

30期 井熊重義 金丸正美 杉山元浩 馬場興樹

31期 福永時継 32期 小島 明

## 〈 記念誌編集委員 〉

28期 宮前裕道 30期 井熊重義

31期 福永時継 川島英良 伊藤初枝

32期 小島 明



名古屋市高年大学鯨城会

天白鯨城会